



JASDAQ

平成 26 年 3 月 4 日

各 位

東京都千代田区麹町一丁目 4 番地
株式会社ファンドクリエーショングループ
代表取締役社長 田 島 克 洋
(コード番号：3266)
問合せ先： 取締役経営企画部長 吉田 隆
電話番号： (03) 5212-5212(代表)

販売用不動産の譲渡及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 1 月 23 日及び平成 26 年 1 月 29 日の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社ファンドクリエーションが、下記のとおり販売用不動産を譲渡することを決議し、平成 26 年 3 月 3 日を以って代金決済が完了いたしました。また、平成 26 年 1 月 14 日付で開示いたしました平成 26 年 11 月期（平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 販売用不動産の譲渡

(1) 販売用不動産 1

- ①譲渡の理由：本対象物件は、優良テナントに賃貸を行っている運用物件として、平成 19 年 10 月に取得し、固定収入を得ながら時期を見て購入価格より高い価格にて売却することを検討しておりました。今般、譲渡先との間で条件面の協議が整い、譲渡することいたしました。
- ②所在地：千葉県千葉市
- ③譲渡価格：540,000,000 円（消費税込）
- ④代金決済日：平成 26 年 1 月 24 日
- ⑤譲渡先：取引の守秘性を鑑み開示は控えさせていただきます。なお、譲渡先は法人 1 社であり、当社と譲渡先との間に記載すべき資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者に該当する状況はありません。

(2) 販売用不動産 2

- ①譲渡の理由：本対象物件は、優良テナントに賃貸を行っている運用物件として、平成 20 年 1 月に取得し、賃料収入を得ながら時期を見て購入価格より高い価格にて売却することを検討しておりました。今般、譲渡先との間で条件面の協議が整い、また、大規模修繕等の費用負担が回避できるなど諸般の状況を総合的に勘案し、譲渡することといたしました。
- ②所在地：神奈川県秦野市
- ③譲渡価格：820,000,000 円（消費税込）
- ④代金決済日：平成 26 年 3 月 3 日
- ⑤譲渡先：取引の守秘性を鑑み開示は控えさせていただきます。なお、譲渡先は法人 1 社であり、当社と譲渡先との間に記載すべき資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者に該当する状況はありません。

2. 業績予想の修正

平成 26 年 11 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期連結累計期間 (平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 210	百万円 △52	百万円 △64	百万円 △68	円 銭 △1.85
今回修正予想 (B)	1,519	172	169	163	4.43
増減額 (B - A)	1,309	224	233	231	
増減率 (%)	623.3	-	-	-	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 11 月期第 2 四半期)	449	60	50	50	1.36

(修正理由)

売上高につきましては、インベストメントバンク事業において、今般、当第 2 四半期連結累計期間 (平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日) に、子会社で保有していた上記の販売用不動産物件を売却したこと等により、当初見込んでいなかった売上を計上することができました。この結果、前回予想比で 1,309 百万円上回る 1,519 百万円の売上高となる見込みとなりました。利益予想につきましては、営業利益は売上高の増加等により前回予想比で 224 百万円増加し 172 百万円の営業利益の見込みとなりました。以下、経常利益は、前回予想比で 233 百万円増加し 169 百万円、当四半期純利益は、前回予想比で 231 百万円増加し 163 百万円の見込みとなりました。

(2) 通期 (平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	百万円 763	百万円 83	百万円 58	百万円 50	円 銭 1.36
今回修正予想 (B)	1,865	83	58	50	1.36
増減額 (B - A)	1,102	0	0	0	
増減率 (%)	144.4	0.0	0.0	0.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 11 月期)	745	40	24	22	0.62

(修正理由)

第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正等に伴い、売上高に関しましては、前回予想比で 1,102 百万円上回る 1,865 百万円の売上高となる見込みとなりました。利益予想におきましては、販売用不動産の譲渡により賃料収入が減少すること及び、下期以降の株式及び不動産市況が不透明なため、当初の公表数値を据え置くことといたしました。今後、精査した結果、業績予想の変更が必要になった場合には速やかにお知らせいたします。

以 上